

ダリアの生産拡大

要約

- ・新規生産者を対象とした産地づくりセミナーを開催し、新規生産者を確保した。
- ・茎頂培養技術を導入している生産組織を支援し、優良球根の安定生産体制を確立した。

現状(背景)と課題

管内のダリア球根生産は、高齢化による生産量の減少、販売価格の低迷やウイルス汚染による生育不良等が問題となっている。

(現状)

- ・新規生産者の確保
新規生産者の増加 1名
- ・茎頂培養由来品種の安定生産
茎頂培養由来品種の増加 0品種/年

目標

- ・新規生産者の確保
新規生産者の増加 2名
- ・茎頂培養由来品種の安定生産
茎頂培養由来品種の増加 3品種/年



活動内容

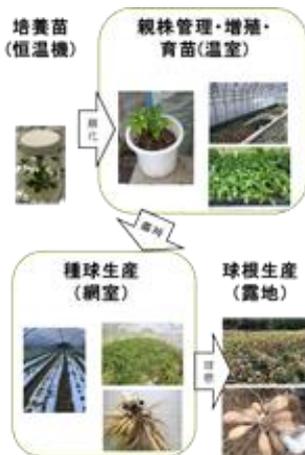
- ・対象：ダリア生産者 生産面積6.8ha、29戸、生産量94.8万球
- ・新規生産者を確保するために、新規生産予定者に対する講習会「ダリア産地づくりセミナー」を開催
- ・茎頂培養由来品種の安定生産のために品種選定検討会及び成績検討会を開催。県農業研究開発センターと連携しウイルス検定を実施。親株のベンチ栽培、増殖網室のウイルス媒介昆虫の防除法等を指導

成果

- ・講習会「ダリア産地づくりセミナー」の開催により2名の新規生産者（生産面積8a、生産量0.9万球）を確保した。
- ・検討会の開催により増殖計画が作られ、親株及び網室の管理指導により栽培が安定したことで、茎頂培養由来品種（種子球100球以上確保）は5品種増加した。



ウイルス汚染による生育不良株(赤丸部)



茎頂培養由来品種生産の流れ



茎頂培養由来品種生産(増殖網室)

東部農林振興事務所農業普及課
担当：拍い手・農地マネジメント係 竹中、中野
農産物ブランド推進係 安川
チャレンジ品目支援事業



講習会講義



講習会実習（分球作業）

普及活動のポイント

- 関係機関と連携して講習会を開催。全6回講習を行い、講義に加えて栽培・出荷調製等の実習、主要生産者の現地視察を行った。
- 検討会の開催により生産者組織の茎頂培養由来品種の増殖に対する意識統一が図られ、安定した生産に繋がった。

対象の変化

- 講習会受講者より2名が新規生産を開始
- 検討会を継続実施することにより茎頂培養由来品種への更新が進んだ

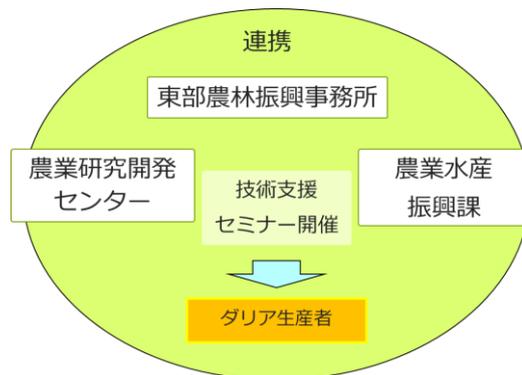
対象者からのコメント

- 今年から作付を始めました。講習により知識が深まりました（新規生産者）
- 指導により茎頂培養由来品種への更新が進みました（生産者団体）

これからの活動ビジョン

- 新規生産者に対し、継続した生産のため重点的に指導
- 生産組織と連携し、安定生産を継続するため、増殖計画作成と技術支援を実施

活動体制



用語解説

茎頂培養技術	茎の先端部を切り取り、養分を含む培地で培養する技術、ウイルスフリーの植物体を作ることができる
増殖網室	茎頂培養由来のウイルスフリー株増殖用にウイルス媒介昆虫の侵入を防止するため、防虫ネットで被覆したハウス